

蔵前工業会埼玉県支部 2013 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2013年7月20日（土）18:00～20:50

場所：シーノ大宮センタービル7階・生涯学習総合センター 講座室3

出欠：12名出席（欠席：大石）

当番：（司会）平原、（書記）小田、（弁当）舟田、（飲料）山口（敬称略）

1. 初めに(平原)

平原支部長から支部活動及び幹事会の進め方について以下の方針を述べられ、承認された。

埼玉支部では、くらしか、講演会、研究会、見学会等、他支部に比し活発且つレベルの高い活動が実施されており、新年度も支部の使命である社会への貢献と支部会員の懇親を図って行きたい。幹事会については、幹事全員が支部運営に積極的に関与し、責任意識を持って活動することが重要と考え、書記、弁当、飲料と同様に司会（昨年度：議長）も持ち回り（昨年度：支部長が担当）とし、全員参加型の活発な幹事会とする。また、幹事会の議事録は、支部組織として保管体制を整備する。

幹事会議事録は、以下の通り取り扱うこととなった。

幹事会終了後、書記当番は、議事録（案）を作成し、幹事会MLにて幹事会メンバーに確認を依頼し、適宜加筆修正後支部長に最終確認を依頼。支部長は、議事録（PDF 確定版）を幹事会MLにて幹事会メンバーに送付。総務担当幹事は、議事録（PDF 確定版）を保管し、支部HP担当幹事は、議事録（PDF 確定版）を幹事会メンバー専用HPに掲載（一般への開示は見送り）。

2. 支部活動の見直し・活性化（平原）

- (1) 支部会員間の懇親
- (2) 埼玉支部が蔵前本部や母校にバックアップ出来ることはなにか
- (3) 蔵前本部や母校は埼玉支部に期待することとは
- (4) 埼玉県内の蔵前埼玉支部に特徴的な活動とは

平原支部長から、上記事項の背景説明がなされ、支部会員間の懇親を図るための見学会については、今年度は予定通りバスツアーを実施するが、近年参加者が少ないことから実施内容の見直しを含めて検討することとなった。また、母校から同窓会への期待度が向上（寄付金の期待？）していることから、上記事項（2-4）について、三島東工大学長及び本房蔵前本部事務局長と幹事会メンバーとの意見交換会（学長と事務局長同席）を開催することとなった（対応：小田総務担当幹事、開催時期：未定、開催場所：埼玉予定）。

3. 2013 年度事業計画

- (1) 総務（小田）：2013年度支部行事

小田総務担当幹事から、2013年度支部行事日程（予定）について説明され、以下の予定で開催することとなった。

新年会：2014年2月9日（日）（会場：ブリランテ武蔵野）

6ヶ月前に予約可の1月19日（日、赤口）は大学入試センター試験日、1月25日（土、赤口）は空きなし。4ヶ月前に予約可の1月26日（日、先勝）及び2月2日（日、先負）については、後日予約変更の可能性を会場に確認し、可能であれば変更。

総会：例年実施している6月は企業の株主総会と重なり会場の確保が困難なため、5月下旬に変更。

見学会：11月

講演会：10月、来年3月、5月（総会終了後同日開催）

技術研究会：8月、11月、来年2月、5月

幹事会：7月、9月、12月、来年2月、3月、4月（監査会議）

(2) 企画（山口・石井）次回講演会、如水会合同講演会（参考：新三木会報告）

山口企画担当幹事から、次回の秋季講演会、如水会合同講演会及び見学会について説明され、以下の予定で開催・対応することとなった。見学会については、他の見学候補先があれば検討する予定。

<秋季講演会>

日時：10月19日（土） 13:30～16:30

場所：ソニックシティ9F 904会議室

講師：久保田 徹（東工大OB、JALエアロコンサルティング株式会社 技術調査部 コンサルタント 元（株）JALアビテック取締役）

演題：「航空機事故からの Lessons Learned（仮題）」

<如水会合同講演会>

平原支部長から、如水会（本部）が毎月開催している講演会（「新三木会講演会」）のプログラムについて紹介され、既に35回開催されており、講師・演題も文系・理系と多種多彩であり、一般参加者の比率が高い（例：第35回新三木会講演会：「原子力発電と日本経済の今後」、講師：橘川武郎 一橋大教授、参加者100名中一般30名）。渡邊如水会埼玉南支部幹事とコンタクトして（8月頃予定）、合同講演会の開催及び一般参加者の参加について意見交換することとなった（対応：山口、石井）。

<見学会>

開催日については、見学先が工場の場合は、見学先の対応を考慮すれば平日となる。見学先が博物館等の民間の娯楽施設であれば休日でも可であるが、混雑するため平日が望ましい。移動手段については、多人数の移動のためバスが便利である。しかし、参加者の減少もあり、支部の懇親活動としての見学会の在り方については別途検討し、今年度は、例年通り、バスによる平日開催。

日時：11月（予定）

見学先：横浜鉄道模型博物館（館長：原氏、東工大OB、蔵前特別賞受賞）、横浜開港資料館

交通：バス

石井副支部長・企画副担当幹事から、次回の技術研究会の予定について説明され、以下の通り開催されることとなった。

<第25回技術研究会>

日時：8月31日（土）午後

場所：ソニックシティ9F 904会議室

講師：岡崎 健（東工大理工学研究科機械制御システム専攻教授、S48 機物 S53 機物博

演題：「日本のエネルギー・環境戦略－技術革新と国際展開－」

(3) 5地区

各支部担当幹事から、支部の活動予定等について説明された。

1) 県央地区（代菊池監事）

県央地区懇談会を以下の通り開催予定。

開催日：8月3日（土）

議題：1）総会及び支部活動報告

2）講演

演題：「千利休のルーツは上州だった」

講師：中里見 勝（S29化工）

2）県東地区（原田県東担当幹事）

9月7日（土）に地区談話会を開催し、富士原前支部長の講演予定。

3）県西地区（落合県西担当幹事）

秋に里山見学会を開催予定。

4）県南地区（佐藤県南東担当幹事）

地区の会合開催案内をメール80名、往復葉書100名程度に送付しても回答が少なく、会合への出席者は幹事を中心に毎回5名程度と非常に少ない。会員の高齢化も原因の一つであるが、対応に苦慮。

5）県北地区（矢嶋県北担当幹事）

地区の役員会を開催して新年度の活動計画を協議予定。

(4) くらりか（利根川）

利根川くらりか特命担当幹事から、くらりかの活動を支部会員にPRし、くらりかへの参加者増大の必要性について説明され、埼玉開催のくらりか活動予定表を各地区担当幹事から地区会員へメール送付し、支部会員のくらりか活動への参観を呼びかけることとした（送付時期（予定）：くらりか教室が一段落する8月のお盆過ぎ）。

4. 個別事項の検討

(1) 地区割の検討

平原支部長から、前年度から繰り越された課題であるが、検討事項も多いため、本年度は変更せず、1年程度を目途に検討会を立ち上げて議論し、検討結果を幹事会に提示して頂きたいとの提案がなされ、問題を抱えている県南と県北の担当幹事を中心に以下の検討会を新設することとなった。

<地区割り検討会メンバー>

河面（取り纏め）、菊池、佐藤、矢嶋、小田

まずは、地区割りに関する意見があればMLにて河面幹事に連絡することとし、以前に地区割りを検討した際に埼玉支部会員の分布図を作成した菊池監事にて、現在の支部会員名簿を基に分布図を作成することとした（支部会員名簿：小田総務担当幹事・支部情報管理幹事から、MLにて全幹事へ送付）。

(2) 幹事と地区委員の連携の方法

（次回持越し）

(3) 埼玉支部活動への参加者増加策

（次回持越し）

(4) 広報と資料管理（河面）

（次回持越し）

5. 2013年度地区補助金、支援金、役員交通費の支給（舟田）

舟田会計担当幹事から、地区担当幹事へ地区補助金（県央・県東・県西：各3万円、県南・県北：各

1万円)、くらしか担当幹事と同好会担当幹事へ支援金(くらしか：12万円、同好会：各3万円)及び幹事へ役員交通費(各3千円、県北幹事2名は6千円)が支給された。

6. その他

(1) 俳句同好会の活動報告(菊池)

俳句同好会会員の菊池監事から、俳句同好会の活動状況について報告がなされ、会員の大幅な減少(会員：7名(最盛期の半分)、投句会員：1名、賛助会員：2名)による同好会の存続の危機を回避するため、幹事会として以下の支援を行うこととした。

- ・支部行事の参加者に対する入会と投句の勧誘
- ・俳句同好会の句報の支部HPへの掲載と支部幹事への配布

<埼玉蔵前俳句会の取り決め 平成25年7月5日決定 菊池 昭武>

会員の種類：

会員(会費5千円/年)：月例句会に出席する人、

投句会員(会費3千円/年)：月例句会に出席せず投句を行う人、

賛助会員(会費無料)：会員及び投句会員以外で埼玉蔵前俳句会に関係のある人

(2) 支部幹事人事(大石)

(次回持越し)

(3) ML送信範囲の確認(大石)

(次回持越し)

7. 次回幹事会の日程(小田)

小田総務担当幹事から、次回幹事会の候補日時として、9月8日(日)及び15日(日)の18～21時(予約済み)が提案され、早期開催が好適とのことで、以下の通り開催することとなった。

日時：9月8日(日)18：00～21：00

場所：シーノ大宮センタービル7階・生涯学習総合センター 講座室3

以上